

2023年2月15日

株式会社ダイセル

組織変更のお知らせ

株式会社ダイセル（本社：大阪市北区、代表取締役社長：小河義美）は、取り巻く環境の大きな変化にも迅速、柔軟に対応し、長期ビジョン・中期戦略の具現化に向けた経営基盤の強化を進めるとともに、注力領域での事業成長を加速するために、2023年4月1日付けで以下の組織変更を行います。

■安全・品質・コンプライアンスを最優先とする経営基盤強化のための組織変更

昨年夏に発表した当社グループ企業の品質認証に関する不適切行為を受け、社外有識者による調査委員会からの再発防止に向けた提言をいただきました。これをグループ全体で厳粛に受け止め、製造業における最優先の基盤として、安全・品質・コンプライアンスの確保を経営の基本方針として再確認するとともに、これを後戻りさせない体制構築にも取り組みます。

その一環として、コーポレート部門、工場部門において、以下の組織変更を行います。

①「アセスメント本部」の改組

同本部の「品質監査室」並びに「レスポンシブル・ケア室」を発展的に解消するとともに、新たに、「安全品質監査室」を設置し、安全と品質に関する監査・教育を一元的に実施します。

②「安全と品質を確かなものにする本部」の新設

新設する同本部には、安全・品質に関するグループ全体の取り組みを統括・推進する機能を持たせます。同本部には「レスポンシブル・ケアセンター」と「品質保証センター」を設置し、それぞれ、レスポンシブル・ケアに関する取り組みと、品質保証・品質管理に関する取り組みを統括・推進します。

③生産カンパニーの廃止と全工場への「品質保証部」の設置

これまで、連続プロセス型の工場群を束ねた「チェーンプロダクションカンパニー」と組立加工型工場群の「マルチプルプロダクションカンパニー」を設置し、それぞれの連携強化を進めてきましたが、こうした工場群の垣根を超えた全工場の連携強化を図ることを目的に各プロダクションセンターを廃止します。

同時に、チェーンプロダクションセンターと各工場で役割分担してきた品質保証機能と品質管理（検査）機能を統合し、すべての工場に「品質保証部」を配置、前述の「品質保証センター」と連携します。

これにより、当社の国内全工場の基本機能として、生産、安全環境、品質保証、生産技術、総務の各機能を配置し、コーポレートの各本部機能並びに工場間の連携強化を進めます。

■ライフサイエンス SBU の設置

これまでライフサイエンス事業企画室において、当社グループが持つ医療関連事業の事業戦略および R&D 戦略を立案・推進し、SBU 化の準備を進めてまいりましたが、同事業の目指す方向性、事業戦略が明確になったことから「ライフサイエンス SBU」に移行します。

同 SBU には、キラルカラム事業から派生したインドを中心とするサービス事業分野や、ゲノム遺伝子分野へのリソース集中投下など、従来の CPI カンパニーと製剤ソリューションビジネスを統合した「ファーマテック BU」と、医療機器事業として新規投与デバイスを社会実装できる事業基盤の確立を進める「メディカル事業開発部」を設置し、それぞれの施策を効率的に推進します。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ダイセル

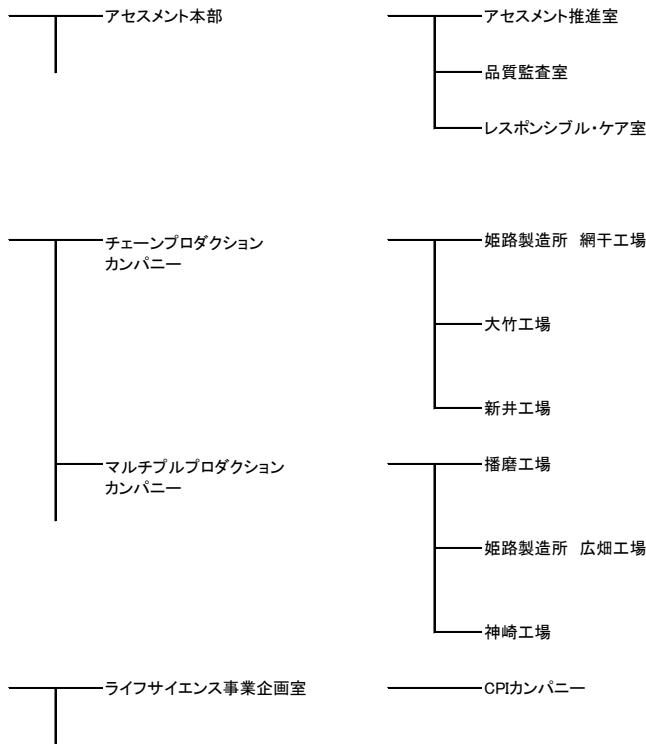
IR・広報室

TEL : 03-6711-8121

E-mail : public_relations2@jp.daicel.com

※参考資料

<組織変更前>



<組織変更後>

